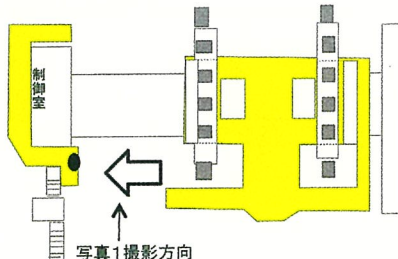
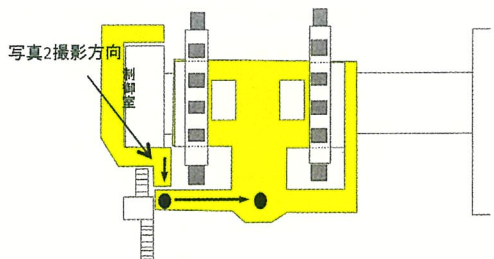
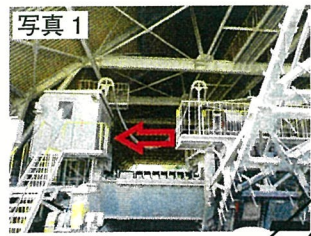


改善・工夫

鉱 山 名	太平洋セメント株式会社 義朗鉱山
テーマ名称	ハローリクレーマ挟まれリスクの改善
1. 改善理由 ・ハローリクレーマとは、ヤードに積み付けたセメント原料を横行しながらバケットですくい、ヤードの端へ到着すると数センチ前進する。 ・同機は点検用通路と一体になった設備であるため、パトロールの際には点検用通路へと横断する必要があった。この間、ハローリクレーマは横行動作のまま停止しないため、通路の手摺等で挟まれるリスクがあった。そこで、リスクアセスメントを実施し、リスク改善を図ったので、以下に報告する。 2. 改善内容  写真1撮影方向 ハローリクレーマが点検用通路と共に乗降部側へ横行してくる 【リスクポイント】 ・動いている設備に乗り込む為、通路等の手摺に挟まれる可能性がある。 ・設備に乗り込む際、タイミングが合わず墜落する可能性がある。  写真2撮影方向 乗降部に接近したら手摺のゲートを開け点検用通路へ横断する ※降りる時は再度、乗降部に近づいた時に横断 写真1  写真2  (対策) ハローリクレーマ乗降部にゲートとリミット SW を取り付け、シーケンサー制御によってゲート開閉の状態に応じて横行動作を一時停止するようにした。  ①ゲート開…横行の一時停止 ②ゲート閉…起動ベル鳴動後(6秒)、横行を再開 (効果) これにより、点検用通路へ横断する際には横行を停止した状態で安全に移動できるようになった。 なお、電気室内にはリミット動作ランプと解除SWを設け、SW故障時に素早く対応できるようにしている。	
3. 効果 ハローリクレーマの横行を一時停止することで、通路に挟まれることなく安全にパトロールができるようになった。	